

本学 結城洋一郎名誉教授の発言記載

市政正襟す10年 券事件

背景と現在への影響は

2011年4月の小梅市長選を巡り、初選した中松治政氏の政治資金ハテ
イ券を市役所庁舎内で市幹部らが販売していた政治資金規正法違反事件で、市
幹部ら2人が逮捕されてから1日で10年を迎えた。公務員の政治的中立性を保
け、市民の信頼を失墜させた事件は、その後の森井秀明市長の誕生、市政の混
迷、現在の後継市長の選任に至る、小梅市政史上の重要な「ターニングポ
イント」となった。パーティー券事件から10年を後に、あらためて事件の背景を検証
し、現在にも与える影響を考えた。(平田康人、鈴木孝典、谷本雄也)

市役所全体がまひ

事件は11年5月に開かれた市長選で中松氏が戦った。相乗りの体制があり、相互
の中松治政氏の政治資金ハ
イ券を巡って起った。当時、事件の報を受けて
入券券1枚3千円を市議、そう種々な額になる。
員130人程購入。販売
に開いた市幹部らと後
援会事務局長同年5月1
日逮捕され、市の部長級
幹部ら12人と併せての
後援会が札幌開会から罰
金を命じられた。市役所全
体をなやませた。11年
に「券事件」が起きた。11年

市民が厳しい審判

相乗りの体制は後援会が市議員らに
助成金を出した。87年が始まる。当時を知る
関係者によると、表面は「厳罰」を求め、
「厳罰」が市長となった。19

パーティー券事件とその後の巡る10年の経過

- 2011年3月 中松治政市長の事務局長が市総務部長に券販売を依頼。1枚3千円で市職員132人が135枚購入(中旬)
- 4月 市長選で中松氏が初当選(24日)
 - 小梅市長などが政治資金規正法違反の疑いで市総務部長、後援会事務局長を逮捕(1日)
 - 市役所などで家宅捜索(2日)①
 - 小梅市長などが同法違反の疑いで市の部長級幹部13人を書類送検(16日)
- 5月 札幌新聞が市総務部長ら12人に15万~30万円の罰金と4~5年間の公民権停止、後援会に罰金30万円の略式命令。販売枚数の少ない3人は起訴猶予処分(20日)②
- 市議会が調査特別委を設置(23日)
- 6月 市の第三者委が初会合(10日)
- 7月 略式命令を受けた部長職8人を減給10%(6カ月または3カ月)の懲戒処分。うち7人を8月1日付で異動、降格せず(27日)
- 9月 第三者委が報告書提出(12日)
- 10月 券をあっせん、購入した当時の次長職、課長職の計8人を訓告。券を購入した100人を文書による厳重注意(5日)
- 12月 市議会が調査特別委が市側に再発防止を求める決議案提出を決め、調査終了(1日)
- 12月 市議会が市職員に法令順守の徹底を求め、市議会も再発防止に取り組み決議案を全会一致で可決(16日)
- 12年4月 市議員倫理条例が施行され、市総務部にコンプライアンス推進室新設(1日)
- 15年4月 市長選で森井秀明氏が初当選(26日)
- 市議会が森井市長に対し、それぞれ2度の閉会決議案と辞職勧告決議案を可決。一般会計決算も2度不認定
- 16~17年 森井市長が辞意表明(4日)③
- 18年7月 森井市長が辞意表明(4日)④
- 8月 市長選で迫俊哉氏が初当選(26日)
- 20年8月 迫市長が1期目折り返し(26日)
- 21年5月 パーティー券事件から10年(1日)

直後に市議会議長・横田氏 なれ合い 現実にあった

政治資金規正法違反事件
では、なれ合いというものが、法
律に違反するのを知らな
かったとしても違法性
の種田久氏(1)に市議の
職能が完全なまひし、自
状況を受け止めた。市議
会(関手・谷本雄也)
「事件から10年を、
改めて受け止める。
一選を待たずに、市議



職員が失った信頼を回復す
べく、手力と業務に取り組
むよう要請した一方、市議
も標を正職員に対する勤
務時間中の政党顧問の購
読依頼などを償いすべきと
全会一致で決議した。こ
「これは職員に法律違反
で大変なところだ」と認識
がなかつたことが大きか
たと思えます。政治資金規
正法を改めて、しっかりと学
び続けることが大切です。

パーティー券事件から10年を受けた 小梅市議会各会派(会長、団長)のコメント

- 浜本進氏(自民)**
10年が経過したが風化しているわけではない。今も事件を教訓に法的にも社会的にも後者指さされないような対応をしている
- 高橋克幸氏(公明)**
市長の提案に全て賛成するような与党体制ではない。これまでと同様に是非々々で臨み、市民に分かりやすく発信したい
- 佐々木様氏(立憲・市民連合)**
市長と議会が距離感を保たないと、なれ合いになる恐れがある。協力すべき点は協力し、疑問点はしっかり指摘していく
- 川畑正義氏(共産)**
5者相乗りの共産党を除くオール与党体制では再びなれ合いが起きる可能性がある。唯一の野党として注視していきたい

緩やかな相乗りに

小梅はいま、緩やかな5
井以前に正襟正った。そ
正襟ではなかった。その
事件が起きたのでない
かと指摘する。
事件当時、企画政策課長



市議員

だが選後の森井氏は議
会と対立。開会決議案を
職員の決議が各々度可決
され、一般会計決算も2度
不認定となる。市政は混
迷を深めた。森井氏は現
在、市議に「18年の
出直し市長選、5者の支
援を受けた迫氏に敗れた。